

専門科目医療相談ードイツ(2015/12/7-16)

ミュンヘン・フランクフルト・デュッセルドルフ

1)ドイツ医療巡回を実施(12/8-13)

今年度の医療巡回第5弾としてドイツ医療巡回を12月8日から13日にかけて実施。

ドイツの在留邦人数は約4万人(外務省海外在留邦人数調査統計H27年)。ミュンヘン、フランクフルト、デュッセルドルフの合計でその7割を超える。ミュンヘンとデュッセルドルフの邦人数は1万人を超える。特にミュンヘンは近年邦人の増加が著しく、前年比30%(約3千人)増加している。JOMFはミュンヘンで歯科相談会を、デュッセルドルフで小児科相談会と歯科相談会を、そしてフランクフルトでは歯科・小児科相談会と小児科授業参観、歯科授業、幼稚園保護者向け歯科懇話会を実施した。



ドイツ医療巡回実績

都市	場所	スケジュール	医師	参加者数
ミュンヘン (12/8, 9)	ミュンヘン日本人国際学校	歯科相談会	田中先生、下村先生	182
フランクフルト (12/10, 11)	フランクフルト日本人国際学校	歯科相談会	田中先生、下村先生	62
		歯科授業 (小1-2, 小3-4, 小5-6, 中1-3)	田中先生、下村先生	-
		歯科 幼稚園保護者懇話会	田中先生	-
		小児科授業参観	榊原先生	-
		小児科相談会	榊原先生	25
デュッセルドルフ (12/12, 13)	デュッセルドルフ日本人学校	歯科相談会	田中先生、下村先生	84
		小児科相談会	榊原先生	13

参加者合計 366名

2)ミュンヘン 歯科相談会(12/8, 9)

- ・ミュンヘン日本人国際学校主催の歯科相談会は2009年に始まり今年が7年目、担当くださったのはミュンヘン日本人国際学校の名越和美教頭先生と斧 孝明事務局長。
- ・会場となったのは、ミュンヘン日本人国際学校(校長 奥井泰伸先生)。<http://jis-muenchen.blogspot.jp/>
- ・ミュンヘン日本人国際学校は1994年開校。児童生徒数は小学部161名、中学部46名、合計207名。在留邦人数増加に伴ない児童生徒数も前年比約40名増加した。
- ・相談会受付や受入れの準備は保健室担当のサイラー美先生が担当くださった。



ミュンヘン日本人国際学校



名越教頭先生(左)
サイラー先生(右)

3)フランクフルト 歯科相談会・歯科授業・幼稚園保護者懇話会、
小児科相談会・小児科授業参観(12/10, 11)

- ・フランクフルト日本人国際学校主催の小児・歯科相談会は2006年から始まり今年度で10度目の開催。担当くださったのは、フランクフルト日本人国際学校の黒川昌彦教頭先生と岡 裕人事務局長。
- ・会場は、フランクフルト日本人国際学校(校長 坂下明洋先生)。<http://jisf.de/index.html>
- ・フランクフルト日本人国際学校は、1969年に国語の補習校として発足。その後幼稚部、小・中学部ができて、1985年に全日制日本人学校として開校。2015年度児童生徒数は小・中学部合計258名。
- ・相談会受付や受入れの準備は保健室担当の富金原先生、福岡先生が担当くださった。



下村先生

田中先生

榊原先生

黒川教頭先生(左)、富金原先生

フランクフルト日本人国際学校

- ・歯科チームは、相談会・相談会に保健授業を担当。小学1-2年を下村先生、小学3-4年・5-6年・中学1-3年を田中先生が受け持った。
- ・校内には、補修授業校(校長 渡邊千雪先生)とフランクフルト日本人幼稚園(園長 海老原孝一先生)が併設。幼稚園では、田中先生による保護者向け歯科懇話会を開催した。



下村先生授業



田中先生保護者懇話会

4) デュッセルドルフ 歯科相談会・小児科相談会(12/12, 13)

- ・デュッセルドルフ日本人学校主催の小児科・歯科相談会は、2007年から続いており、今年で9度目。担当くださったのはデュッセルドルフ日本人学校木田宏海事務局長。
- ・会場はデュッセルドルフ日本人学校(校長 本多成人先生)。<http://www.jisd.de/index.html>
- ・デュッセルドルフ日本人学校は欧州で最初の日本人学校として1971年に開校。児童生徒数は小学部約400名、中学部約130名のほか、日本語補習校に約200名が通う。



受付は土日出勤で吉田先生、二俣先生、ディックス先生、松石先生、杉山先生等が対応下さいました。

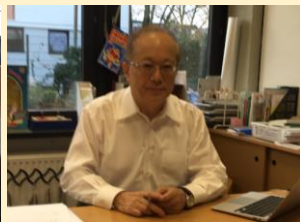


5) ゲーテ大学病院訪問、フランクフルト日本人会懇話会(12/14)

- ・かつて田中先生が研修していたゲーテ大学病院を訪問。歯科研修担当部門を訪ね、カリキュラムの構成や教授の数などをヒアリング。今後の昭和大学歯学部との協力を要請し、昭和大学のカタログを配布用に手交。
- ・フランクフルトのライン・マイン友の会(会長 中田恵子)との夕食懇話会に同行。田中先生との懇話会に約10名のライン・マイン友の会会員が参加した。



6) 医療巡回医師プロフィール



【榎原洋一 先生】

お茶の水女子大学副学長。医学博士。東京大学医学部卒 小児科医。CRN(チャイルド・リサーチ・ネット)所長。日本子ども学会副理事長。専門は小児神経学、発達神経学、特に注意欠陥多動性障害、アスペルガー症候群などの発達障害の臨床と脳科学。
主な著書:「多動性障害児」(講談社+α新書)、「アスペルガー症候群と学習障害」(講談社+α新書)、「ADHDの医学」(学研)など。

【田中健一 先生】

東京医科歯科大学歯学部 卒業
国際協力事業団(JICA) 派遣専門家(ブラジル)
1999年 北京天衛診療所 医療顧問
2004年 西埼玉中央病院
官民協働ネットワーク crossover21スタッフ
2011 東北復興プロジェクト 埼玉医療チーム代表
2014 国際連帯税フォーラムメンバー



【下村直史先生】

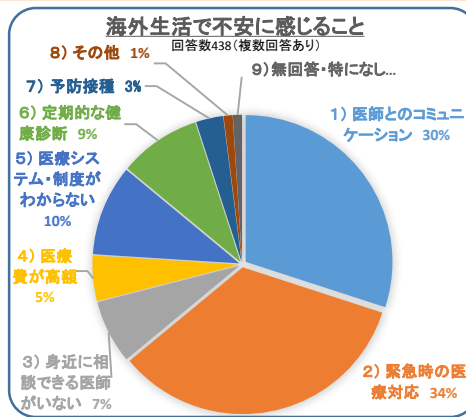
昭和大学歯科病院 小児成育歯科学講座 大学院2年
昭和62年生れ 28歳
平成25年度 昭和大学歯学部卒業 歯科医師免許取得
平成27年度昭和大学歯科病院 小児成育歯科学講座所属科 医員。



7) ドイツ医療事情

相談会に参加された方々へ、現地の医療事情についてアンケートを実施。ドイツ(ミュンヘン、フランクフルト、デュッセルドルフ)における医療面での懸念事項は、1位-緊急時の医療対応(34%)、2位-医師とのコミュニケーション(30%)、3位-医療システム・制度がわからない(10%)だった。

※くわしい調査結果は別途HPで報告予定



JOMFの医療支援活動

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創立され、現在は海外で3か所に日本人常駐医師を派遣している。また、その他の主要地域には、2001年から専門科目の日本人医師を派遣して、医療支援事業を行っている。国内では、海外在留邦人からの電話・メール・掲示板による医療相談を受けたり、会員企業や産業医をサポートする講演会、セミナー等を開催している。
JOMF活用ガイド:
<http://www.jomf.or.jp/pdf/guide.pdf>